えくてびあん

立川と語ろう　立川に生きよう

July 2015
Écoutez Bien Vol.33 No.368

7

超高齢社会の「幸せ」を考える

表紙の人／「立川で三代」　植木屋さん　山本家三代（一番町）

車麩

栄養価が高い上においしい、ヘルシー、それが麩。
車麩を洋風にアレンジした2品は、とにかく試してみてください。
これはお肉? と自分の舌を疑ってしまいます。

調理指導:三上康子(三上鰹節店)

車麩のココット風

《車麩のココット風》

★材料

車麩…4枚(大きめのもの)　卵…4個
ベーコン…4枚
A [だし汁…350cc　酒…大さじ2
砂糖…大さじ2と1/2　しょうゆ…大さじ2
みりん…大さじ1/2]

★作り方

❶ 車麩は、ぬるま湯又は水に15分程浸け、柔らかくなるまで戻す。
❷ 鍋に[A]を入れ、煮立たせる。
❸ ❶の車麩を手で触って硬い芯がなければ両手のひらではさみ、水気を絞る。
❹ ❷にベーコンを敷き、その上に車麩を重ならないように並べ、蓋をして弱火で15分程煮て味を含ませる。
❺ ❹の車麩の中心に卵を割り入れたら蓋をして卵が好みの硬さになるまで煮る。
最後に好みで唐辛子、こしょうをかけても美味しい。

《車麩のフライ》

★材料

B [車麩…10枚(小さめの場合)5枚(大きめの場合)
水…350ml　みりん…大さじ1
しょうゆ…150ml
にんにく…(大きめのもの)1片(すりおろす)
しょうが…中1個(すりおろす)]
小麦粉…適宜　卵…適宜　パン粉…適宜
油…適宜

★作り方

❶ [B]の材料をバット又はビニール袋に入れ約20分漬け込む。
(車麩の両面に汁気がいきわたるように)
❷ 車麩の汁気は絞らず、小麦粉・卵・パン粉を順につけ、中温度の油できつね色にカラッと揚げる。

★しょうゆを半量にして揚げたてを甘酢に絡めても美味しいです。

車麩のフライ

スタイリスト:Mimura Mie

［インタビュー］

きらり！この顔

Tachikawa Inside Outside
あの人、この人、立川人 19

「幸せ」は自分でつくるもの

自分よりも、他人を大事にする

寿命が延びて「老老介護」という言葉が珍しくなくなった。
最近では「認認介護」「認知独居」もあるという。超高齢社会における「幸せ」とは？

橋本 正明氏

橋本正明氏：社会福祉法人 至誠学舎立川理事長、前至誠ホーム長、立教大学兼任講師。明治学院大学社会福祉学部・フィンランドユバスキュラ大学卒業、病院ソーシャルワーカーを経て高齢者福祉の現場で実践を続ける。東京6大学で始めて社会福祉学部が設立された立教大学に1998年教授として任用される。2011年3月まで至誠ホーム長を兼務し、学部長も歴任し定年を迎える。至誠ホームには教え子も勤務している。奥様は福祉・教育大国フィンランドのご出身。至誠ホームでは英語クラブや賛美歌を歌うクラブを指導、明るく優しい人と多くのお年寄りに慕われている。長男は音楽家、次男は心臓外科の医師、お孫さん3人に恵まれよき家庭人でもある。

至誠学舎立川：明治45年「まことの心」を理念とする司法少年保護団体として設立された社会福祉法人。戦後の組織変更を経て、児童・障害福祉、高齢者福祉、幅広い保育事業など様々な福祉活動を展開している。至誠ホームはその中の高齢者福祉を担当する事業本部で、昭和26年から地域で活動する高齢者福祉事業のパイオニア。

——先ごろ、介護報酬がマイナス改定された上に、年収によっては利用者の自己負担が2割に決定しました。

橋本　厳しいですね。介護報酬の基本報酬が引き下げられた。しかし条件を満たせば加算しましょうと。特養でも、ユニット型の新型特養と従来の特養とでは基本報酬が違うのです。内容が複雑で一概には言えないのですが、最終的には報酬の中でやり繰りしていくしかありません。介護職の処遇改善加算の条件というのは、定期昇給があることと、キャリアパス制度や研修制度がしっかりしていること等です。至誠ホームの場合は条件を満たしているので加算を請求できるのですが、問題は加算のない職種の人達に対して、報酬が引き下げられた中でどう対処するかということです。

——重要ですね。

橋本　介護といっても看護をはじめ、いろいろな職種の人々が協力して成立する仕事ですからね。しかし、なんといっても介護職は昼の勤務と夜勤を繰り返すことが厳しい。特に女性にとっては大変なことです。いろいろ考えて、夜勤手当を充実させることにしました。

——そうですか。

橋本　利用者の方は保険料が値上げされ、また所得によって自己負担も1割と2割に分かれました。同時に特養の利用は原則介護度3以上とされました。居室料、保険料、利用者の自己負担割合など、利用者にとっても事業者にとってもすごく厳しいことが多く、しかも複雑な制度で一言では説明できないし、一般の方には理解し難いですね。今の超高齢社会で介護保険はとても重要な制度です。でも、利用を厳しく制限すれば生活に困る人が増えてしまう。そこを支えるのがやはり福祉なんです。

——なるほど。

橋本　介護保険制度ができ、誰もが介護を受けられるようになった。ケアが一般化して、福祉というよりも保険で対応することになった。みんなが保険料払って保険サービスを受ける。しかしそれは困っている人の生活を、トータルにそして丁寧に手当していくわけではないのです。

——そうですよね。でも長年、老人福祉の仕事をされてきた至誠ホームさんとしては、もっと一人ひとり…。

橋本　そう。人の幸せ、幸せに生活するということを考えます。

——地域と密着してらっしゃるし、ボランティアさんは年間延べ14000人も参加されていらっしゃいますよね。

橋本　「地域の中で」ということ。その方が在宅なのか施設利用なのか、生活の場の選択には、その方の事情があります。でもどういう事情でも状況に応じて生活を支援する。難しくなった時のセーフティネットとして、最後まで生活を支えられるように支援することが大切だと思っています。「自助、互助、共助、公助」で地域での生活を護るといいますが、誰もが地域の中で最後まで、例えば認知症になっても生活できるか、要介護同士の高齢世帯がどこまで生活できるかというと、できる場合もあればできない場合もある。要介護になり、ひとりになり…孤立化し。

——そう言われると、怖い！

橋本　「老い」は人間の自然の流れですから受け入れるしかない。自分の人生をどう整理できるかという事はものすごく大事なことです。社会保障、社会福祉とは、ベースに「人は自分の責任で精いっぱい生きるんだ」という自律の精神が求められています。そういう意味で、高齢者福祉とは「お年寄り一人ひとりの幸せって何かな」と考えることだといつも思います。

——幸せは個々に感じ方が違います。

橋本　前向きに、自分の幸せを感じられるかはやはり自分自身に依ります。それも高齢期になってからの話ではない。権利の主張だけで自分が幸せを感じられるとは言えません。「幸せ」は主観ですから。その主観を作るのは自分じゃないですか。私どもの仕事はそのお手伝いがどうできるかということです。社会福祉の考え方は「人間は関係性の中で生きている」ということを大切にします。良好な人間関係がその人の周りを包んでいれば、その人は人生を幸せに感じられるのではないでしょうか。

——至誠ホームにいらっしゃる幸せな高齢者はどんな方ですか?

橋本　至誠ホームには自立の方から重介護の方まで生活していますが、お友達のために働き、自分の生活を楽しまれている方が多くいらっしゃいます。例えば95歳という高齢になっても、健康で地域の中でボランティア活動をされている方もおられます。朝の体操のプログラムの時など、職員の手が十分じゃない中、沢山のお年寄りがお友達の車椅子を押してお手伝いくださる。見事なものです（笑）。お手本のような方がいらっしゃる一方で、自分で自分を不幸にする場合もあります。

——生きがいが見いだせないとか?

橋本　興味が全部自分にだけ集中して、納得しない自分の人生や「老い」を常に嘆いている。お気の毒です。

——あぁ。でも、職員の方とか傾聴ボランティアさんとかって、そういう方の愚痴を聞いたりされるんですよね?

橋本　ええ。社会福祉っていうのは関係性ですから。ボランティア活動の内容は様々ですが、話し相手、傾聴の活動は有効です。職員がルーチンの仕事に追われ多忙で対応できないところを支えてくださる。ボランティアコーディネーターがそこをうまくつないでくれます。ボランティアさんは私たちを支えてくれるのですが、先ほどの95歳の方のように、実は誰かの役に立つことがご自身の生き甲斐、「幸せ」に繋がっていくのです。これが福祉だと実感します。

——支え合っているんですね。

橋本　ええ。ボランティアさんが「してあげる」と思っていたら、サービスを受ける方も負担に感じるかもしれない。仕事でもそうですが、自分も楽しめて、双方が幸せになれることが大切ですね。

——そうですね…。

橋本　老いていくということは厳しいことです。それを受け入れて、ある場面では耐えていくことが必要です。「老い」とは失っていく過程でもあり、高齢期多くの人が鬱状態になることも分かります。「老いの受容」という言い方をしますが、自身が受け入れられないと辛い。周りはとても大変です。きれいごとでは済みません。

——私も目が見えなくなってきました（笑）。

橋本　個人差もありますよ（笑）。でも、逆らっても仕方ないこともあります。だから私はアンチエイジングと言うより、自然な生き方も大切にしたいと思っています。自然の摂理ですから抗っても限度が自ずとある。もちろん努力はしますよ、運動や食生活の改善など。

——最低限、最後まで自分の足で歩けたらと思っています。

橋本　そこは自分の生き方でできること。一方認知症は加齢と大きく相関関係しています。なる人はなる。大切なのはなっても大丈夫な環境づくりや関係づくり。それをしておけば受け止められるのです。

少し余談になりますが、丹羽文雄が昭和22年、43歳の時に「嫌がらせの年齢」という私小説を書いています。同居した86歳の義母の過酷な老いの姿を身近に経験しているのです。そこで、これからは家族ではなく社会が支えていくべきだと書いた。その彼が40年後、アルツハイマー型の認知症になるのです。そして奥さんにも認知障害がでる。認知症の両親を長女の本田桂子さんが面倒みるのです。

——NHKでドキュメンタリーやってましたね。

橋本　ええ。環境にもよりますが、老いると生来の性格が出てくることが多い。奥さんは常に「自分が、自分が」という意識があって、老いて更にその不満感が強くなり、娘でも財産を取ろうとしていると疑って訴え出てしまう。一方、丹羽文雄自身は「ありがとう、ありがとう」と周りを幸せにして100歳まで生きる。しかし介護者の本田桂子さんは介護保険がスタートしてほっとしたのでしょうか、翌年65歳で亡くなってしまいます。「嫌がらせの年齢」から70年近く経って、「世話をする人を世話することがとても大事」と書かれているのを読むと、いろいろ考えさせられます。

——寿命が違っただけで、昔から老人問題はあったんですね。結局、人生盛りの時のあり方が大事！では今、私たちはどう生きたらいいでしょう?

橋本　まずは心身の健康、そして人間環境づくりですね。人に嫌われるほど自意識が強い方がいいと言う方もいるけれど、私はそうは思わない。他人を大事にしたら自分が大事にされるのです。個性とかアイデンティティは大事ですけれど、家族の中でもまず自分以外の人を大事にしていかないといけない。

——「至誠」ですね。

橋本　そうです。誰でも心の中に誠の心を持っている。それをいかに育て発信していけるか。それが性善説、孟子の言葉でもあり、日本のソーシャルワークの原点だと思っています。

——やはり日本には日本にあった社会福祉があるとお思いですか?

橋本　西欧の精神文化が間違っているわけではないが、私たちには東洋の精神風土が「幸せ」に大きく関わっています。権利性だけではなく、共に生きるとか、寄りそうとか、謙虚さです。福祉の現場に携わる人としては、平凡で、関係性が築けて、そこで学べればいい。人はどうしたら幸せになっていけるか、幸せに生を終えられるか。「天寿を支えるケア」といいますが、蝋燭が消えていくときに、そこに蝋を足すのではなく、消えていく過程を静かに見守れたら、ご本人も安心、幸せですし、周りも幸せになれるのではないでしょうか。

——そうしたお気持ちの方がケアしてくださるって、本当にありがたいですね。

橋本　無理に感謝をとは言いませんが、心尽くして仕事している人がいるということだけは知っていてもらいたいです。自分で望んで介護を仕事にしている人たちです。誠意を尽くして一生懸命仕事している人たちに、敬意をもっていただけたらいいなと思っています。

中入り後の大喜利

発表会前の総見。稽古をつけるのは三遊亭圓輔師匠。風と呼ばれる扇子、手ぬぐいの使い方や細かいイントネーションなどを「こうした方がよりよい」と指南。この総見が本番よりも緊張するのだとか。

立川亭志ん士さん　演目『そば清』　スーツを着て歩いていらっしゃるお姿、よく拝見します。ええ、柴崎町とか曙町とかで。何のお仕事してらっしゃるのでしょう？

何十年前の写真？
えくてびあんで
撮影したものです。
お若い！

立川亭六助さん　演目『松竹梅』　いや、おじょうずで！常磐津ってああいうもんなのかと勉強になりました。

立川亭みたたさん　演目『パールのようなもの』一番笑いがありました。みたたさんのキャラは大喜利でも最強です。みたたって「畳」ですよ！

立川亭小はくさん　演目『浮世床』熱演でした。小はくさん、その筋では有名な方でございます。自己紹介でも「戦争はしちゃいけません。」

昔家志之助さん　演目『ねずみ』じ～ん。いい話でした～。さすがトリー甚五郎「刀入魂のねずみって動くのか～。まくらも面白かったです。

色物はかっぽれ。芸達者な人たちです。

笑南亭南笑さん　演目『厩火事』　お名前からわかります。南笑さん、実は湘南の方でございます。遠路はるばる立川まで楽しませに来て下さってありがとうございます。

立川亭ポ蘭さん　演目『猫と金魚』　出前落語といえばポ蘭さん！あちこちに出没、いや出演していらっしゃいます。人気があるんですね！

吉例 第六十七回 立川落語会

水戸銭無用でございます さらにお茶まで出ちゃいます

立川市で市民に愛され早三十年。
本名は明かしません。「あ、あの人！」なんて指さしちゃあいけません。
見たまんま、聞いたまんまでお楽しみください。

立川落語会には春と秋、二度の発表会がございます。

平成二十七年四月二十五日。アイムホールに行ってまいりました。

どこからいらっしゃるのか老若男女のお客様、二百席のホールはほぼ満席。こりゃ落語をやる方も緊張するだろうと思いきや、なんのなんの。落語はもちろん玄人跳、かっぽれを踊ったかと思えば、大喜利は被り物まで持ち出して、笑わせる笑わせる。

そりゃ、あなた。立川に住んでいるなら二度は足を運んだ方がいいですよ。

何しろ三十年ですよ。三十年と言えば、もう立川の遺産、あ、間違えた、文化財じゃありませんか。

えくてびあんの輪

えくてびあんはリストのお店にあります。今月は羽衣町、錦町、柴崎町、立川市外のお店です。

羽衣町

- ギリシャレストラン SHUPOUL ‥ 519-3923
- 林歯科医院 …… 522-5657
- 中島豆腐店 …… 522-5732
- 新鮮野菜・惣菜 立川商店 … 522-3565
- 本・事務用品 泰明堂 …… 522-3353
- 本と文具 ないとう …… 522-3677
- 赤松タバコ店 …… 524-7852
- まごころ銘茶 狭山園 …… 527-0146
- お好み焼ともんじゃ焼 こけし‥ 526-1267

錦町

- めがね・とけい・補聴器 カワハラ ‥ 525-4427
- 鳥料理 くし秀 …… 522-7692
- 寿司勝 …… 522-4874
- IL COVO …… 595-9071
- イタリア料理 トラットリア ドンシェ～ ‥ 512-8735
- 宮地楽器 MUSIC JOY 立川南 ‥ 526-1779
- カフェといもの penta merone ‥ 529-5221
- 中国料理 五十番 …… 522-7472
- 一六珈琲店 …… 527-1680
- 手づくりみそ 材料専門店 北島こうじ店 ‥ 524-3190
- new gyoza 1059 餃子天国 ‥ 526-2283
- イタリアンダイニング asa 529-5668
- バー　バル アラディ …… 523-3917
- H.works …… 521-2721
- CAFE SOMMEILLER …… 527-1440
- 中国整体院 …… 529-1088
- 中国菜館 多味軒 …… 526-5925
- 日本クッキングスクール …… 522-3440
- 元祖5本指ソックス専門 LASANTE ‥ 540-1616
- 美容室 アリス …… 525-1100
- 手打ちそば くまはら川 …… 595-6810
- FALCO hair …… 528-2389
- N HAIR WORLD …… 523-5336
- 創作料理 caffe & bar 厨～kuriya～ …… 595-7449
- TTM(株) …… 524-5787
- Bakery Café Crown …… 526-2226
- 日本空手道 佐藤塾 …… 548-7460
- 三田花店本店 …… 524-4187
- いわさき痛みの整骨院 …… 529-5123
- にしやま薬局 …… 525-9212
- たましんRISURUホール … 526-1311
- たましん 錦町支店 …… 528-0511
- カレー店 CHOTA …… 525-1004
- パン工房 グラーティア …… 512-8667
- たちかわ農産物直売所 そば処 高尾亭 …… 522-2710
- Natural Food Restaulant シェいなば ‥ 529-5921
- エステランテ ロズまり …… 529-3037
- Garden & Crafts Cafe ‥ 0120-412-877
- 至誠学舎立川 …… 527-7734
- 至誠ホーム …… 527-0031
- 至誠介護相談センター …… 527-0321

柴崎町

- 諏訪神社 …… 522-2968
- 毎日新聞社グループ(株)毎日広告社 ‥ 522-6121
- パスタビーノ はしや …… 521-3386

昭島市

- いなげや 昭島郷地店 …… 545-4516
- ECO' S 昭島店 …… 546-3710

武蔵村山市

- 中国料理 菜 …… 561-7233
- さえき大南食品館 …… 561-7666

国分寺市

- パンの店 fermata …… 534-3334

小金井市

- ONLY FREE PAPER

jorakugajo

真如苑提供番組〈常楽我浄〉

スカパー！：529ch

スカパー！で放送の常楽我浄は
スマートフォンアプリ「ivy」（無料）で視聴できます。

J:COM 多摩：111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

至誠学園ガーデンパーティ

参加者全員で集合写真

穏やかな晴天に恵まれた昭和の日。錦町にある至誠学園でガーデンパーティが開かれました。たくさんのお客さまと一緒に一足早い子どもの日を楽しみました。来場された校長先生や副校長先生の皆さん、地域の方々、大学生のボランティアの皆さん、保育園の先生方など、いつも子どもたちを見守ってくれる大きなつながり。

高橋前理事長からやな瀬さんに感謝状と記念品が渡されました

高橋利一 前理事長も「こうした人の関係づくりがとても大事です。それが安心につながります」とおっしゃっていました。ずっと至誠学園を応援してきてくださった錦町の和菓子屋さんの「やな瀬」さん。残念ながら6月15日に閉店されました。今回が最後のお餅つき。子どもたちも大人もみんな楽しんでおいしくいただきました。

こうした地域の支援、ありがたいですね。

来春までさようなら

フロム中武が耐震工事のため一時閉店しました。写真は閉店前日撮影したものですが、お気に入りのお店の在庫一掃割引セールに集う人々や、昔懐かしのフロム中武をもう一度見に来た人でいっぱいでした。1962年「中武デパート」として開店、「フロム中武」に改称、53年の歴史を刻んで今、新しい「フロム中武」に生まれ変わろうとしています。予定では2016年春に再オープン。またここに「新しい立川」がひとつ。待ち遠しいですね！

美しく華やかに「オーレ!」

立川の5月は賑やかに立川フラメンコで幕開けです。連休中5月5日には前夜祭、6日はすずらん通りをメインに本番ステージが華やかに繰り広げられました。なんといっても500人の踊り手による群舞は、踊る方はもちろん、観客の心も高揚させます。来年は踊ってみたいという方もいらしたかな？

「あおぞらガーデン」に立川市が後援

ルミネ立川店屋上が庭園になっているのをご存知ですか？ここは時々とってもすてきな場所になるのです。春の「あおぞらガーデン」も多くのお客様がいらして、のんびりゆったり空と時間を楽しみました。立川市の後援もつきました。6月7日には、豪華出店者が集まった1日だけの「宝のもちぐされ市」なんてあったりして、注目の場所です。

「立川断層はなかった」それが真実！

5月16日（土）、RISURUホールで立川断層帯についての研究成果が講演会で述べられました。講師は東京大学地震研究所教授の佐藤比呂志先生。立川市民にとっては本当に気になっていたことですが、国の３年に及ぶ掘削調査や電磁波による調査、その他にもたくさんの調査をした結果、なんと、立川断層帯はなかったという結果になったのだそうです。多くの聴講者もほっとした様子でお帰りになりました。よかったですよね、本当に。地価がもっと上がるかな？

たかが竹とんぼ？とんでもない！

高度計測器

今年も竹とんぼの大会が開かれました。30人以上の参加者は、お手製の力作竹とんぼをいくつも持参。滞空、高度、飛距離を競います。手から離れた竹とんぼ、あっという間に上空へ。でも見失うこともしばしばです。そのくらい高く、あるいは遠くに飛んでしまうから。記録は気合で出すものだそうですが、えくてびあんが毎回感心するのはその高度の計測方法。気合で飛ばした竹とんぼを、三角関数を使って測ります。いろいろな意味ですごい人の集まりです。

ヒツジのさとるは出向解任。新たに八木みさと着任しました。

ヒツジのさとる

ヤギのみさと

フェンス越しにかわいい姿を見せていた立飛みどり地区のコンシェルジュさとる。ヒツジです。約1か月、みどり地区の除草に励みましたが、夏の観光シーズンを迎えて本社那須りんどう湖の佐藤社長に呼び戻されました。優秀というか人気者は引っ張りだこです。みどり地区には、さとるに替わってヤギのみさとが着任しました。さとるや他のヤギ同様、みさともどうぞかわいがってくださいね。

おじゃましま～す！――[37]

国立コーヒーロースター

コーヒー豆の店です

コーヒー豆を販売しています。カフェスペースはありません。注文を聞いてから、生豆を焙煎してくれます。だから少し時間がかかります。注文だけしてあとから受け取りに来られるお客様が多いです。でも実は、店主の動きを見ているとすごく面白い。注文された生豆を量ります。焙煎します。ガラガラと音をたてて豆が焙煎機の中を転がります。そのうちに音が変わるのか、香りが変わるのか、見ている者にはわかりませんが、店主の背中に「話しかけるな！」というような何か独特な、そう！俗にいうオーラでしょうか。それが漂うのです。だからもちろん話しかけません。張りつめた時間を共有します。すると、煙の出ている焙煎機に、細長い管のようなものを入れて黒くなった豆を何粒かすくい出す。何かを確認したかと思うと、ザザーッと豆を網状の入れ物にあけ、場所を移動させます。冷ましているのかな？網状の入れ物はいくつもあって、こちらから見ていると全部黒い豆に見えるのですが、そこはさすがプロ。違いがわかる方なのです。何はともあれ、えくてびあんは美味しいので通っています。

国立市北1-5-15 アパルト国立1F
TEL/FAX 042-572-8787

定休日：月曜、第2・第5火曜
営業時間　11:00～19:00

表紙の人

山本治光さん、耕平さん、龍正くん

撮影日は快晴。植木屋さんの山本さんには、一番緑のきれいな時期を選んでモデルをお願いしました。表紙の撮影は、実はとても時間がかかります。外でもライティングは欠かせません。準備の間、治光さん、ドローンで上空からえくてびあんスタッフを撮影されていました。Facebookにアップされた映像を見て、すっかりえくてびあんもドローンが欲しくなりました。治光さんが夢中になっていることは、ドローンだけではありません。奥様とご一緒にボクサーのブリーダー、しかもチャンピオン中のチャンピオンを育てていらっしゃる！表紙に写っているのはソラ。今年のチャンピオンです。そしてこの写真はソラのお母さん、メイ。昨年のチャンピオンです。耕平さんは立川の若手農業後継者の会「立川市農研会」の副会長。ボクサーには関心がありません。龍正くんはもっぱらゲームに夢中です。

かたこと

◆表紙の山本さんの畑には木材のチップが敷かれてあって、足元がフカフカ、いい香り。ちょっと足でチップを掘ると、出るわ出るわ、カブトムシの幼虫。こういう所で成虫になれるなんて幸せなカブトムシです◆立川市の教育長は学生時代から落語研究会所属だったそうです。大喜利ではさすが教育長！お手本のようなお答えでした。小はくさんは結成当時から落語会に所属されているとか。総見からご一緒させていただきましたが、いろいろあって、落語会、面白いです◆5月からクールビズの暑さです。立飛みどり地区のヤギもさぞかし暑いだろうなと思います。ヤギたちは秋までの任期ですが、絶対数が足りずなかなか除草が捗らない様子です。やっぱり人の手がちょっとは必要なのかもしれませんね◆橋本正明さんのお話は、現場で実践してこられたからできるお話だと思いました。「きれいごとではすまない」――本当にそうなのだろうと思います。介護する、介護される、その両方がいつかは自分にも訪れること。他人事ではありません。働き盛りの時からその備えが必要と。しかも心の備えが必要なのだと。自分よりまず他を大事にする、心してこれからを生きていきたいと思います。

えくてびあんスタッフ一同

えくてびあん ©

7月号　第33巻　通巻368号

平成27年7月1日発行
発行　有限会社 えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082　FAX 042-528-0065
URL www.tamatebakonet.jp
発行人　黒須 環
企画・写真・編集　えくてびあん編集スタッフ
デザイン　株式会社 デックC.C.
印刷　三浦印刷株式会社

無断転載を禁じます。

『とやまきときと ほっきょくきらきら』

ASSW(Arctic Science Summit Week)北極科学サミット週間2015が、2015年4月23日〜30日まで富山国際会議場で開催されました。「富山のことなのに、なぜえくてびあん?」と思われるかもしれませんが、このASSW2015のマネージメントは立川にある極地研究所の皆さんだったのです。中日にあたる26日(日)に公開講演会が行われ、極地研究所の応援団を自負するえくてびあんは、もちろん富山まで行ってきました。公開講演会の第一部では、いろいろな角度から北極を教えてもらいました。国際北極科学委員会議長で極域歴史家のスーザン・バールさんから北極探検の歴史を、オーロラといえばこの方、地球物理学者の赤祖父俊一先生からはもちろん北極圏のオーロラを、若い写真家の石川直樹さんは北極だけでなく七大陸最高峰登頂経験を交えて極域についてのお話を。見たことも聞いたこともないお話にドキドキの第一部。

第二部ではASSWに先だって富山の小中学生に応募してもらったおもてなしキャッチコピーや北極でしたいことなど、多くの応募の中から選ばれた作品の表彰がありました。第三部のパネルディスカッションはまさに「富山に北極がやってきた」が展開され、難しい話ではありましたがわかりやすく北極を語ってもらいました。

会場は富山市の国際会議場

立川では2015年11月16日〜19日、『第6回極域科学シンポジウム』が緑町の学術プラザで開催されます。こういった機会にぜひ立川市民にもレクチャーがあるといいですね!

オーロラの研究で著名な赤祖父俊一先生

初めての方にもわかりやすく極地について講演がありました

応募作品の中から優秀賞が表彰されました

かわいいじゃありませんか、「おこられなくなったぼく」